

引用文献

- 母子衛生研究会 (2015). *母子保健の主なる統計*. 母子保健事業団, 131.
- Clausen, J P. et al. (1973). *Maternity Nursing Today*, Mc Graw-Hill, 389–432.
- 古川隆子 & 富本和彦 (2013). 完全母乳栄養継続を困難にする要因の検討—人工乳補足に至る要因を探る：第1報—. *外来小児科*, 16(2), 170–176.
- 藤村博恵 & 河原加代子 (2010). 地域での活動体験をもつ助産師の入院中の産褥期ケア. *日本保健科学学会誌*, 12(4), 200–210.
- 二川香里 & 長谷川ともみ (2014). 母親役割の概念分析. *富山大学看護学会誌*, 14(1), 1–11.
- グレッグ美鈴, 麻原きよみ, 横山美江 (2007). よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 看護研究のエキスパートをめざして. 東京:医歯薬出版, 54–72.
- 日野京子, 山内純子, 藤川節子, 松田真奈子, 高橋勝子 (2012). 産後2週間健診による完全母乳栄養への効果. *日本看護学会論文集*, 42, 47–50.
- 芳賀亜紀子, 徳武千足, 近藤里栄, 中村紗矢香, 鈴木敦子, 太平雅美... & 島田三恵子 (2013). 産後1ヵ月時の母乳育児の確立と基礎的・産科学的要因および母乳育児ケアとの関連性. *母性衛生*, 54(1), 101–109.
- 一ノ瀬まきの (2014). <子育て>という経験が看護に及ぼす影響～役職をもたない看護師に焦点をあてて～. *北日本看護学会誌*, 17(1), 31–39.
- 稲田千晴, 北川真理子 (2010). 産褥期の母乳育児をする母親の母親役割の体験. *日本助産学会誌*, 24(1), 40–52.
- 唐田順子 (2008). 病産院における子育てを見据えた産褥期の支援の実態と助産師の役割認識. *母性衛生*, 49(2), 357–365.
- 河原聡美, 梅野貴恵 (2013). 母乳栄養率・母乳育児支援の出産施設別の比較と母親が望む母乳育児支援の検討. *母性衛生*, 54(2), 317–324.
- 川崎佳代子, 遠藤恵子, 三澤寿美, 成田伸, 大原良子, 岡本美香子... & 橋本かおり (2006). 栃木県における母乳育児支援の実態～看護専門職の母乳育児に関する支援の状況と考え方～. *日本母性看護学会誌*, 6(1), 42–49.
- 風間仁美 (2009). 授乳に関する母親の問題解決行動を促すためのかかわりに関する研究—開業助産師のかかわりの原点—. *母性衛生*, 50(2), 373–380.

- 古賀幸代, 福田さおり, 中村泰子, 石川広子, 羽江和子 (2010). 産後 2 週間健康診査の現状と課題 助産師外来における産後のサポート. *日本看護学会論文集*, 40, 126–128.
- 紺野美香 (2015). 母乳栄養継続のための要因検討. *神奈川県立保健福祉大学実践教育センター看護教育研究集録*, 40, 192–199.
- 厚生労働省 (2006). 平成 17 年度乳幼児栄養調査結果の概要. Retrieved from <http://www.mhlw.go.jp/houdou/2006/06/h0629-1.html>
- 前原邦江 (2007). 産褥早期の授乳場面における母親の発話. *千葉大学看護学部紀要*, 29, 15–20.
- Mariko Iida, Shigeko Horiuchi & Kumiko Nagamori (2014). A comparison of midwife-led care versus obstetrician-led care for low-risk women in Japan. *Women Birth*, 27(3), 202–207.
- 正岡経子, 丸山知子 (2009). 経験 10 年以上の助産師の産婦ケアにおける経験と重要な着目情報の関連. *日本助産学会誌*, 23(1), 16–25.
- 皆川恵美子, 松嶋弥生 & 田中千登世 (2001). 分娩施設の相違からみる出産・出産後の母児の経過および援助の方向性. *母性衛生*, 42(1), 248–255.
- 森一恵 (2013). 産後 1 か月が経過した経産婦の完全母乳育児に対する決定要因の検討. *日本助産学会誌*, 27(1), 48–59.
- 村井文江, 江守陽子, 斉藤早香枝, 野々山未希子, 谷川裕子 (2008). UNICEF/WHO の「母乳育児成功のための 10 カ条」の視点からみた関東 6 県における母乳育児の状況—第 1 報: 母乳育児支援の現状—. *母性衛生*, 48(4), 496–504.
- 中垣明美 & 千葉朝子 (2012). 母親役割獲得支援に向けた産後 3～4 ヶ月の母親の現在と妊娠中の思いおよび希望する支援の検討. *母性衛生*, 53(1), 125–133.
- 中本 朋子 (2013). 看護者が行う新生児期の母乳育児支援の実態と課題. *山口県立大学学術情報*, 6, 33–41.
- 中尾由紀美 & 横山美江 (2015). 母乳育児と愛着形成に関連する文献的考察. *大阪市立大学看護学雑誌*, 11, 29–36.
- 中田かおり (2008). 母乳育児の継続に影響する要因と母親のセルフ・エフィカシーとの関連. *日本助産学会誌*, 22(2), 208–221.
- NPO 法人日本ラクテーション・コンサルタント協会 (2015). *母乳育児支援スタンダード*. 東京: 医学書院, 64–77, 106–116, 200–205.

- 長田知恵子 (2009). 助産師による退院後の母乳育児ケアにおける観察視点. *日本助産学会誌*, 23(2), 182-195.
- 齋藤真子, 星絹子 (2010). 退院から産後 1 ヶ月までの授乳方法が変わった背景—アンケート調査より今後の母乳育児支援の検討—. *竹田綜合病院医学雑誌*, 36, 89-95.
- 島田三恵子, 渡部尚子, 戸田律子, 中根直子, 神谷整子, 縣俊彦...鈴木幸子 (2001). 入院中の母乳哺育ケアと 1 か月後の母乳栄養確立との関連—母乳哺育に関する全国調査—. *小児保健研究*, 60(6), 749-756.
- 角川志穂 (2005). 母親役割獲得に向けた継続的授乳指導の効果. *母乳衛生*, 46(1), 100-110.
- 高木静代, 小林康江, 小室真祐子, 奥田靖彦, 平田修司 (2012). 妊婦の視点からみた助産外来を受診することの意味. *母性衛生*, 53(2), 242-249.
- World Health Organization[WHO] / United Nations Children's Fund[UNICEF] (1989). *Evidence for the ten steps to successful breastfeeding*.
Retrieved from http://www.who.int/nutrition/publications/evidence_ten_step_eng.pdf
- 山田志枝, 塩野悦子 (2011). わが国における母乳育児を行う母親の体験に関する文献検討. *宮城大学看護学部紀要*, 14(1), 81-87.
- 山本果奈, 明崎祐子, 西村有加, 福重真紀, 山本三枝, 西山木梢...尾原喜美子 (2015). 出生後 24 時間の直接授乳回数と退院時の母乳栄養確立との関係. *中国四国地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会誌*, 10, 104-107.
- 山崎圭子, 齋藤益子, 米山万里枝, 遠藤俊子, 石川紀子 (2010). 妊婦のセルフケア行動を促す母子健康手帳の検討—妊娠および出産後の経過記録に対する助産師と母親の認識—. *東邦大学医学部看護学科紀要*, 23, 23-32.
- 谷津裕子 (2015). *Start Up 質的看護研究 [第 2 版]*. 東京: 学研メディカル秀潤社, 67-72, 98-161.